

<実施内容別結果>

マシンによる、マシンによらないに関わらず、筋力増強訓練は複数のアウトカム指標で統計学的に有意に高いオッズ比が得られた。一方、レクリエーション・ゲームは TUG で有意に低いオッズ比が得られており、また有意ではないもののオッズ比が 1 以下のものが 4 つのアウトカムで認められた。日常生活活動に関わる訓練では、片足立ち時間のみが高いオッズ比を得た。持久性訓練については、統計学的に有意にオッズ比が高い、あるいは低い項目はなかったが、オッズ比 1 以上が 7 指標中 5 指標であった。

表Ⅲ－6 実施内容を独立変数に入れた多重ロジスティック解析の結果（全数）

		要介護度	基本 チェックリスト	主観的健康観	開眼 片足立ち時間	TUG	5m 通常歩行時間	5m 最大歩行時間
マシンによる筋力増強	オッズ比	1.059	1.084	0.968	1.290	1.178	1.454	1.157
	95%信頼区間	0.828 - 1.356	0.852 - 1.379	0.777 - 1.205	1.008 - 1.651	0.903 - 1.536	1.099 - 1.924	0.892 - 1.500
マシンによらない筋力増強	オッズ比	1.303	0.969	1.280	1.062	1.230	1.156	1.122
	95%信頼区間	1.052 - 1.615	0.782 - 1.200	1.053 - 1.556	0.851 - 1.326	0.975 - 1.553	0.908 - 1.471	0.891 - 1.414
持久性訓練	オッズ比	1.137	0.921	1.189	0.876	1.130	1.235	1.176
	95%信頼区間	0.875 - 1.478	0.721 - 1.178	0.944 - 1.498	0.687 - 1.117	0.858 - 1.487	0.925 - 1.649	0.903 - 1.532
日常生活活動に関わる訓練	オッズ比	0.959	1.038	0.972	1.277	1.204	1.220	1.158
	95%信頼区間	0.786 - 1.170	0.850 - 1.268	0.809 - 1.169	1.038 - 1.570	0.972 - 1.491	0.982 - 1.516	0.938 - 1.429
レクリエーション・ゲーム	オッズ比	0.842	0.869	0.926	0.947	0.623	1.039	1.079
	95%信頼区間	0.683 - 1.037	0.708 - 1.065	0.768 - 1.116	0.771 - 1.162	0.499 - 0.779	0.834 - 1.295	0.873 - 1.333

統計学的に有意に成功確率が高いもの 統計学的に有意に成功確率が低いもの

<実施回数別結果>

実施回数については、週 1 回未満を基準とすると、週 2 回以上実施した場合に通常歩行時間に有意に高いオッズ比が得られた。その他の従属変数、頻度について有意なオッズ比が得られたものはなかった。

表Ⅲ－7 実施回数を独立変数に入れた多重ロジスティック解析の結果（全数）

		要介護度	基本 チェックリスト	主観的健康観	開眼 片足立ち時間	TUG	5m 通常歩行時間	5m 最大歩行時間
週 1 回未満	オッズ比	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000
	95%信頼区間							
週 1 回以上週 2 回未満	オッズ比	0.978	0.851	1.148	1.099	1.138	1.388	1.169
	95%信頼区間	0.710 - 1.349	0.613 - 1.183	0.864 - 1.524	0.783 - 1.543	0.805 - 1.609	0.996 - 1.935	0.834 - 1.640
週 2 回以上	オッズ比	1.007	0.742	1.247	0.919	1.391	1.595	1.098
	95%信頼区間	0.710 - 1.429	0.517 - 1.065	0.906 - 1.716	0.630 - 1.340	0.943 - 2.052	1.103 - 2.306	0.756 - 1.595

統計学的に有意に成功確率が高いもの 統計学的に有意に成功確率が低いもの

<実施時間別結果>

30 分未満を基準にすると、いずれの実施時間でも要介護度、片足立ち時間で有意にオッズ比が高かった。また、30 分以上 1 時間未満では TUG、1 時間以上 2 時間未満では主観的健康観と 5m 通常歩行時間で、統計学的に有意に高いオッズ比が得られた。

表Ⅲ－８ 実施時間を独立変数に入れた多重ロジスティック解析の結果（全数）

		要介護度	基本 チェックリスト	主観的健康観	開眼 片足立ち時間	TUG	5m 通常歩行時間	5m 最大歩行時間
30分未満	オッズ比	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000
	95%信頼区間							
30分以上 1時間未満	オッズ比	1.336	1.039	1.191	1.428	1.555	0.874	0.963
	95%信頼区間	1.004 - 1.779	0.753 - 1.432	0.892 - 1.591	1.015 - 2.009	1.099 - 2.202	0.623 - 1.224	0.684 - 1.355
1時間以上 2時間未満	オッズ比	1.965	1.096	1.365	1.871	1.385	1.499	1.350
	95%信頼区間	1.455 - 2.655	0.799 - 1.504	1.025 - 1.819	1.344 - 2.606	0.991 - 1.934	1.057 - 2.125	0.959 - 1.901
2時間以上	オッズ比	1.778	1.104	1.287	1.460	1.070	0.904	0.876
	95%信頼区間	1.309 - 2.417	0.797 - 1.529	0.959 - 1.728	1.045 - 2.040	0.767 - 1.494	0.643 - 1.270	0.624 - 1.230

統計学的に有意に成功確率が高いもの 統計学的に有意に成功確率が低いもの

< サービス提供職種別結果 >

理学療法士、保健師、柔道整復師がサービスを提供している場合に、複数のアウトカム指標で統計学的に有意にオッズ比が高かった。一方、医師、看護師では、それぞれ主観的健康観、要介護度等で有意に低いオッズ比が得られた。作業療法士、言語聴覚士、あんまマッサージ師においてはいずれのアウトカム指標でも、有意に高い、あるいは低いオッズ比を示すものはなかった。

表Ⅲ－９ サービス提供職種を独立変数に入れた多重ロジスティック解析の結果（全数）

		要介護度	基本 チェックリスト	主観的健康観	開眼 片足立ち時間	TUG	5m 通常歩行時間	5m 最大歩行時間
医師	オッズ比	0.898	0.810	0.676	0.881	0.833	0.803	0.847
	95%信頼区間	0.627 - 1.287	0.548 - 1.197	0.480 - 0.954	0.582 - 1.333	0.538 - 1.288	0.532 - 1.212	0.555 - 1.291
理学療法士	オッズ比	1.065	1.000	1.025	1.278	1.262	1.156	1.189
	95%信頼区間	0.868 - 1.308	0.816 - 1.226	0.851 - 1.236	1.038 - 1.574	1.016 - 1.569	0.928 - 1.441	0.960 - 1.472
作業療法士	オッズ比	0.876	1.064	0.898	0.827	1.076	1.031	1.083
	95%信頼区間	0.691 - 1.111	0.825 - 1.371	0.714 - 1.129	0.636 - 1.074	0.821 - 1.409	0.792 - 1.342	0.832 - 1.410
言語聴覚士	オッズ比	0.952	0.735	0.637	3.338	1.097	1.675	1.222
	95%信頼区間	0.416 - 2.179	0.311 - 1.734	0.300 - 1.353	0.731 - 15.238	0.358 - 3.363	0.478 - 5.870	0.400 - 3.732
保健師	オッズ比	2.384	1.368	0.884	1.254	1.713	1.211	1.290
	95%信頼区間	1.514 - 3.755	0.980 - 1.911	0.664 - 1.177	0.910 - 1.728	1.164 - 2.521	0.820 - 1.788	0.895 - 1.859
看護師、准看護師	オッズ比	0.760	0.963	1.043	0.859	1.103	0.999	1.224
	95%信頼区間	0.617 - 0.936	0.789 - 1.175	0.868 - 0.868	0.868 - 1.051	0.895 - 1.359	0.807 - 1.237	0.996 - 1.504
柔道整復師	オッズ比	1.718	0.952	1.078	1.078	1.637	1.591	2.488
	95%信頼区間	0.970 - 3.043	0.645 - 1.406	0.742 - 1.566	1.080 - 2.489	1.020 - 2.629	0.787 - 3.217	1.451 - 4.264
あんまマッサージ師	オッズ比	0.736	1.085	0.855	0.994	1.047	1.360	0.965
	95%信頼区間	0.500 - 1.084	0.692 - 1.700	0.584 - 1.250	0.591 - 1.671	0.645 - 1.700	0.814 - 2.272	0.605 - 1.540

統計学的に有意に成功確率が高いもの 統計学的に有意に成功確率が低いもの

【特定高齢者】

< 変数ごとの維持改善割合 >

特定高齢者を対象に分析すると、要介護認定等では90%以上が改善、10%未満が悪化となっている。その他の指標については80%程度が維持改善、20%程度が悪化の傾向を示している。

<実施内容別結果>

マシンによる筋力増強訓練、マシンによらない筋力増強訓練、持久性訓練、日常生活活動に関わる訓練は5m 通常歩行時間で有意に高いオッズ比を示した。マシンによらない筋力増強訓練ではこれに加えて、主観的健康観、持久性訓練では5m 最大歩行時間、日常生活活動に関わる訓練ではすべての運動器アウトカム指標において有意に高いオッズ比を示した。レクリエーション・ゲームについてはTUGで有意に低いオッズ比が得られた。

表Ⅲ-12 実施内容を独立変数に入れた多重ロジスティック解析の結果（特定高齢者）

		要介護度	基本 チェックリスト	主観的健康観	開眼 片足立ち時間	TUG	5m 通常歩行時間	5m 最大歩行時間
マシンによる筋力増強	オッズ比	0.816	1.452	1.161	1.260	1.310	2.177	1.171
	95%信頼区間	0.424 - 1.571	0.937 - 2.251	0.794 - 1.698	0.831 - 1.912	0.824 - 2.083	1.225 - 3.870	0.744 - 1.845
マシンによらない筋力増強	オッズ比	1.377	1.393	1.959	0.873	1.352	1.934	1.413
	95%信頼区間	0.806 - 2.355	0.967 - 2.006	1.415 - 2.711	0.612 - 1.245	0.926 - 1.975	1.258 - 2.975	0.968 - 2.064
持久性訓練	オッズ比	0.749	1.286	1.457	1.280	1.176	2.639	3.020
	95%信頼区間	0.368 - 1.522	0.801 - 2.065	0.959 - 2.214	0.811 - 2.020	0.696 - 1.989	1.175 - 5.929	1.727 - 5.282
日常生活動作に関わる訓練	オッズ比	0.766	1.398	1.170	2.010	1.497	1.616	1.651
	95%信頼区間	0.441 - 1.329	0.962 - 2.032	0.836 - 1.639	1.402 - 2.883	1.017 - 2.205	1.062 - 2.457	1.138 - 2.397
レクリエーション・ゲーム	オッズ比	0.772	0.874	1.012	0.924	0.526	0.958	0.857
	95%信頼区間	0.451 - 1.321	0.617 - 1.237	0.738 - 1.387	0.665 - 1.282	0.365 - 0.757	0.646 - 1.418	0.604 - 1.216

統計学的に有意に成功確率が高いもの 統計学的に有意に成功確率が低いもの

<実施回数別結果>

週1回未満に比較して、実施頻度が高くなるとアウトカム指標の維持改善のオッズ比が高くなる傾向が認められた。5m 通常歩行時間では、週2回以上の実施が有意に高いオッズ比を示した。

表Ⅲ-13 実施回数を独立変数に入れた多重ロジスティック解析の結果（特定高齢者）

		要介護度	基本 チェックリスト	主観的健康観	開眼 片足立ち時間	TUG	5m 通常歩行時間	5m 最大歩行時間
週1回未満	オッズ比	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000
	95%信頼区間							
週1回以上週2回未満	オッズ比	1.599	1.082	1.100	1.270	1.159	2.172	1.447
	95%信頼区間	0.779 - 3.282	0.638 - 1.835	0.680 - 1.779	0.753 - 2.142	0.640 - 2.099	1.261 - 3.743	0.853 - 2.455
週2回以上	オッズ比	1.168	1.367	1.007	1.550	1.074	4.220	1.701
	95%信頼区間	0.419 - 3.255	0.634 - 2.947	0.517 - 1.963	0.739 - 3.252	0.482 - 2.393	1.795 - 9.922	0.781 - 3.704

統計学的に有意に成功確率が高いもの 統計学的に有意に成功確率が低いもの

<実施時間別結果>

30分未満を基準にすると、要介護認定等で1時間以上2時間未満と、2時間以上で有意に高いオッズ比が得られた。有意ではないものの、相対オッズ比を比較すると、1時間以上2時間未満が要介護時間等、基本チェックリストを除くアウトカム指標で高いオッズ比を示した。

表Ⅲ－14 実施時間を独立変数に入れた多重ロジスティック解析の結果（特定高齢者）

		要介護度	基本 チェックリスト	主観的健康観	開眼 片足立ち時間	TUG	5m 通常歩行時間	5m 最大歩行時間
30分未満	オッズ比	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000
	95%信頼区間							
30分以上 1時間未満	オッズ比	1.475	0.771	0.826	1.076	0.460	0.594	1.769
	95%信頼区間	0.467 - 4.659	0.202 - 2.935	0.300 - 2.276	0.355 - 3.264	0.093 - 2.261	0.169 - 2.083	0.592 - 5.288
1時間以上 2時間未満	オッズ比	3.763	0.695	1.140	1.483	0.557	1.212	2.110
	95%信頼区間	1.267 - 11.183	0.199 - 2.426	0.445 - 2.921	0.540 - 4.077	0.123 - 2.530	0.377 - 3.896	0.803 - 5.545
2時間以上	オッズ比	4.599	0.725	1.136	1.056	0.320	0.560	1.043
	95%信頼区間	1.513 - 13.978	0.206 - 2.550	0.440 - 2.929	0.385 - 2.898	0.071 - 1.444	0.176 - 1.782	0.398 - 2.733

統計学的に有意に成功確率が高いもの 統計学的に有意に成功確率が低いもの

< サービス提供職種別結果 >

理学療法士では片足立ち時間で、柔道整復師では片足立ち時間、TUG 時間、5 m 最大歩行速度で有意に高いオッズ比を認めた。一方、あん摩マッサージ師については、要介護度等で統計学的に有意に低いオッズ比を認めた。また、すべてのアウトカム指標で、オッズ比が 1 を超えるものはなかった。

表Ⅲ－15 サービス提供職種を独立変数に入れた多重ロジスティック解析の結果（特定高齢者）

		要介護度	基本 チェックリスト	主観的健康観	開眼 片足立ち時間	TUG	5m 通常歩行時間	5m 最大歩行時間
医師	オッズ比	-	0.943	1.126	0.476	1.396	0.277	0.396
	95%信頼区間		0.110 - 8.052	0.233 - 5.448	0.118 - 1.921	0.168 - 11.572	0.045 - 1.697	0.094 - 1.666
理学療法士	オッズ比	0.748	0.999	0.764	1.455	1.330	1.541	1.487
	95%信頼区間	0.433 - 1.292	0.691 - 1.443	0.550 - 1.062	1.013 - 2.090	0.885 - 1.999	0.986 - 2.408	0.996 - 2.222
作業療法士	オッズ比	1.237	1.495	0.691	2.033	0.814	0.873	0.789
	95%信頼区間	0.388 - 3.942	0.643 - 3.477	0.375 - 1.271	0.824 - 5.016	0.373 - 1.776	0.398 - 1.914	0.375 - 1.658
言語聴覚士	オッズ比	0.221	-	-	-	-	-	-
	95%信頼区間	0.011 - 4.392						
保健師	オッズ比	1.077	1.065	0.810	1.038	1.537	1.054	1.294
	95%信頼区間	0.600 - 1.933	0.718 - 1.581	0.574 - 1.142	0.716 - 1.505	0.988 - 2.392	0.646 - 1.719	0.842 - 1.988
看護師、准看護師	オッズ比	0.695	1.211	1.261	0.857	1.197	0.937	1.204
	95%信頼区間	0.412 - 1.170	0.854 - 1.719	0.918 - 1.733	0.613 - 1.198	0.825 - 1.738	0.636 - 1.379	0.839 - 1.729
柔道整復師	オッズ比	2.402	0.777	1.105	2.159	2.054	-	2.710
	95%信頼区間	0.685 - 8.422	0.453 - 1.335	0.651 - 1.873	1.199 - 3.890	1.031 - 4.093		1.285 - 5.715
あんまマッサージ師	オッズ比	0.042	0.683	-	0.520	0.252	0.421	0.892
	95%信頼区間	0.005 - 0.365	0.068 - 6.897		0.042 - 6.418	0.032 - 1.986	0.029 - 6.061	0.083 - 9.603

統計学的に有意に成功確率が高いもの 統計学的に有意に成功確率が低いもの

【要支援者】

< 変数ごとの維持改善割合 >

要支援者の維持改善割合はおおむね 80% 未満であった。また、悪化率は 20% を超えていた。

<実施内容別結果>

マシンによらない筋力増強訓練、レクリエーション・ゲームでは、それぞれ要介護度等、5m最大歩行時間に有意に高いオッズ比を認めた。一方、持久性訓練では片足立ち時間で有意に低いオッズ比を認めた。

表Ⅲ-18 実施内容を独立変数に入れた多重ロジスティック解析の結果（要支援者）

		要介護度	基本 チェックリスト	主観的健康観	開眼 片足立ち時間	TUG	5m 通常歩行時間	5m 最大歩行時間
マシンによる筋力増強	オッズ比	1.318	0.878	0.853	1.302	1.085	1.158	1.015
	95%信頼区間	0.999 - 1.738	0.651 - 1.184	0.648 - 1.124	0.940 - 1.804	0.772 - 1.525	0.827 - 1.622	0.726 - 1.421
マシンによらない筋力増強	オッズ比	1.306	0.761	1.001	1.172	1.114	0.931	0.952
	95%信頼区間	1.024 - 1.665	0.578 - 1.002	0.778 - 1.288	0.867 - 1.583	0.819 - 1.515	0.685 - 1.266	0.699 - 1.298
持久性訓練	オッズ比	1.296	0.781	1.124	0.726	1.070	1.062	0.795
	95%信頼区間	0.973 - 1.727	0.582 - 1.047	0.847 - 1.490	0.538 - 0.980	0.766 - 1.492	0.771 - 1.462	0.582 - 1.086
日常生活動作に関わる訓練	オッズ比	1.110	0.960	0.911	1.041	1.008	1.002	0.927
	95%信頼区間	0.891 - 1.384	0.752 - 1.225	0.726 - 1.143	0.796 - 1.361	0.770 - 1.321	0.768 - 1.309	0.709 - 1.210
レクリエーション・ゲーム	オッズ比	0.907	0.917	0.897	1.113	0.778	1.151	1.327
	95%信頼区間	0.717 - 1.146	0.707 - 1.190	0.706 - 1.141	0.846 - 1.466	0.582 - 1.041	0.874 - 1.516	1.008 - 1.746

統計学的に有意に成功確率が高いもの 統計学的に有意に成功確率が低いもの

<実施回数別結果>

週1回未満を基準としたとき、週2回以上でオッズ比が高い傾向があるが、統計学的に有意にオッズ比が高いものはなかった。

表Ⅲ-19 実施回数を独立変数に入れた多重ロジスティック解析の結果（要支援者）

		要介護度	基本 チェックリスト	主観的健康観	開眼 片足立ち時間	TUG	5m 通常歩行時間	5m 最大歩行時間
週1回未満	オッズ比	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000
	95%信頼区間							
週1回以上週2回未満	オッズ比	0.833	0.699	1.116	0.931	1.028	1.042	1.008
	95%信頼区間	0.577 - 1.204	0.456 - 1.071	0.780 - 1.597	0.589 - 1.472	0.661 - 1.597	0.670 - 1.621	0.641 - 1.585
週2回以上	オッズ比	1.149	0.658	1.381	0.804	1.426	1.160	0.913
	95%信頼区間	0.779 - 1.694	0.421 - 1.026	0.943 - 2.020	0.498 - 1.298	0.893 - 2.276	0.733 - 1.837	0.572 - 1.460

統計学的に有意に成功確率が高いもの 統計学的に有意に成功確率が低いもの

<実施時間別結果>

30分未満を基準としたとき、30分以上1時間未満ではTUG時間に、1時間以上2時間未満では片足立ち時間に有意に高いオッズ比が認められた。

表Ⅲ-20 実施時間を独立変数に入れた多重ロジスティック解析の結果（要支援者）

		要介護度	基本 チェックリスト	主観的健康観	開眼 片足立ち時間	TUG	5m 通常歩行時間	5m 最大歩行時間
30分未満	オッズ比	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000
	95%信頼区間							
30分以上1時間未満	オッズ比	1.311	1.031	1.251	1.405	1.729	0.942	0.900
	95%信頼区間	0.974 - 1.763	0.738 - 1.440	0.921 - 1.700	0.975 - 2.025	1.198 - 2.495	0.661 - 1.344	0.626 - 1.294
1時間以上2時間未満	オッズ比	1.291	0.965	1.302	1.541	1.093	1.410	1.187
	95%信頼区間	0.932 - 1.789	0.672 - 1.385	0.932 - 1.819	1.042 - 2.279	0.747 - 1.599	0.942 - 2.109	0.792 - 1.780
2時間以上	オッズ比	1.056	0.935	1.184	1.395	1.297	1.157	1.173
	95%信頼区間	0.758 - 1.471	0.644 - 1.357	0.839 - 1.671	0.927 - 2.098	0.867 - 1.940	0.767 - 1.746	0.776 - 1.773

統計学的に有意に成功確率が高いもの 統計学的に有意に成功確率が低いもの

<サービス提供職種別結果>

医師は、主観的健康観で統計学的に有意にオッズ比が低かった。理学療法士は、要介護認定等で有意にオッズ比が高かった。その他の職種では、統計学的に有意にオッズ比が高い職種はなかった。

表Ⅲ-21 サービス提供者を独立変数に入れた多重ロジスティック解析の結果（要支援者）

		要介護度	基本 チェックリスト	主観的健康観	開眼 片足立ち時間	TUG	5m 通常歩行時間
医師	オッズ比	0.819	0.851	0.615	1.023	0.864	0.870
	95%信頼区間	0.566 - 1.186	0.564 - 1.284	0.425 - 0.891	0.654 - 1.598	0.545 - 1.370	0.565 - 1.340
理学療法士	オッズ比	1.278	0.993	1.212	1.191	1.119	0.991
	95%信頼区間	1.014 - 1.610	0.768 - 1.283	0.952 - 1.543	0.905 - 1.568	0.845 - 1.483	0.752 - 1.305
作業療法士	オッズ比	1.091	1.122	0.989	0.812	1.125	1.046
	95%信頼区間	0.848 - 1.403	0.849 - 1.481	0.764 - 1.280	0.604 - 1.093	0.829 - 1.528	0.779 - 1.403
言語聴覚士	オッズ比	1.197	0.678	0.770	3.706	1.048	1.554
	95%信頼区間	0.495 - 2.896	0.283 - 1.623	0.341 - 1.737	0.797 - 17.246	0.339 - 3.239	0.440 - 5.493
保健師	オッズ比	-	0.963	1.218	1.534	2.865	0.374
	95%信頼区間	-	0.254 - 3.661	0.332 - 4.473	0.300 - 7.827	0.355 - 23.141	0.099 - 1.416
看護師、准看護師	オッズ比	1.136	0.978	1.138	0.904	0.929	0.888
	95%信頼区間	0.883 - 1.460	0.740 - 1.293	0.879 - 1.474	0.670 - 1.219	0.681 - 1.268	0.653 - 1.207
柔道整復師	オッズ比	1.062	0.940	0.847	0.937	0.984	1.336
	95%信頼区間	0.535 - 2.108	0.502 - 1.761	0.471 - 1.524	0.479 - 1.831	0.481 - 2.013	0.627 - 2.849
あんまマッサージ師	オッズ比	1.013	1.177	0.899	1.120	1.135	1.335
	95%信頼区間	0.679 - 1.510	0.741 - 1.871	0.608 - 1.328	0.652 - 1.923	0.679 - 1.897	0.782 - 2.280

統計学的に有意に成功確率が高いもの 統計学的に有意に成功確率が低いもの

検討3：組み合わせを考慮した場合の実施内容による差について

前述の実施内容による分析では、それぞれしている場合としていない場合の比較を行ったが、実際には、それぞれの内容を組み合わせて実施していることがある。そこで、5つの実施内容の組み合わせのうち、全数で100度数以上選択されている実施内容について、マシンによる筋力増強のみを基準としたときの相対オッズ比を求めた。

【全数】

<変数ごとの維持改善割合>

要介護等でみると、もっとも低い維持改善割合を示したのは、日常生活活動に関する訓練とレクリエーション・ゲームで78.3%であった。逆にもっとも高い維持改善割合を示したのは、マシンによる筋力増強訓練と持久性訓練で86.8%であった。運動器のアウトカム指標では、開眼片足立ち時間でみると、もっとも低いのがマシンによらない筋力増強訓練のみで65.9%、もっとも高いのがマシンによらない筋力増強訓練と日常生活動作に関する訓練で83.2%あった。